

令和7年度 事業報告

高齢者の生きがいの充実を図るとともに、高齢者の知識、経験、能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与するため、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと事業運営を行ってまいりました。

シルバー人材センターを取りまく環境は社会情勢を反映して厳しい状況であります。本年度の事業実績は前年度と比較して契約金額で、若干の増額となりました。

厳しい状況下でこうした実績を得られましたことは、町当局はじめ、大阪府、町内企業並びに地域の皆様の温かいご支援とご協力を戴いた賜物であると感じるところであります。

また、当初の事業計画で示された基本方針や事業実施計画に基づき

(1) 普及啓発事業の推進 (2) 会員の拡充と充実した組織の確立

(3) 就業開拓の推進 (4) 安全・適正就業対策の推進 (5) 社会貢献事業の推進 など鋭意、努力し各事業を推進して参りました。

契約金額で前年度より 2,702,693 円増の 124,108,007 円で、内訳といたしましては、公で 980,416 円増の 56,430,633 円、民で 1,722,277 円増の 67,677,374 円という結果となりました。

就業延人数は、前年度より 201 人減の 27,530 人となり、また、就業実人員は会員数 169 人に対し 182 人で年間就業率は 107.7%でした。

安全就業・健康管理対策につきましては、就業先パトロール等により安全意識の高揚に努め、就業災害や交通事故の抑制に取り組んで参りました。

会員の拡充対策として昨年度から引き続き、福祉バスに「会員募集」のマグネットシートにより普及啓発に努めました。

普及啓発事業及び社会貢献事業の推進としては、社会奉仕活動の一環として、10月に清掃ボランティア活動を町内道路において行いました。

今後も、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」を基本に地域の皆様の多様な要望に対応できるよう更なる事業運営に努めて参ります。

以下、次のとおり、事業実績状況等をご報告いたします。